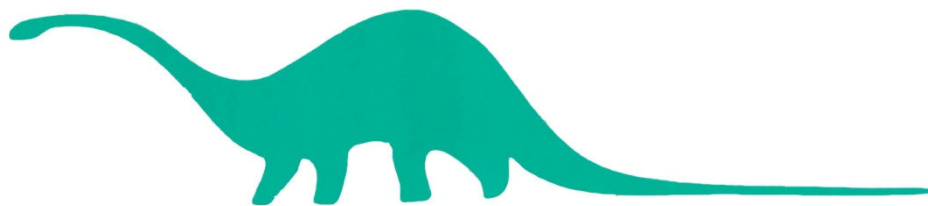


C.L. information

～Vol.23(4月号)2013～



今月号の特集： ハトについて
食中毒情報

株式会社コントロール・ラボ
<http://controllabo.co.jp>

ハトについて

平和のシンボルとして知られるハト、日頃どこでもよく見かけるので、どなたにとっても非常に馴染み深い生き物ではないでしょうか？ そんなハトですが、日常生活を脅かす害鳥という側面もあり、毎年ゴールデンウィークを過ぎる頃から徐々に、ハトに関わる問題が多くなっていきます。

今回の C.L.information は、そんなハトについて特集させていただこうと思います。

ハトと人間とのかかわり

日頃、ヒトの住む環境で見られるハトをドバトと言います。その原種のカワラバト *Columba livia* は荒地や岩場に生息しています。元々はヨーロッパや中近東の乾燥地帯に生息していた種類で、日本には奈良時代に持ち込まれ、そのまま定着したと考えられています。食用として家禽に改良されましたが、飛行能力と帰巢本能が高い事から、情報伝達的手段として伝書鳩のように利用されるようになりました。古くは紀元前 3000 年のエジプトで利用が確認され、近代まで軍用、民間用の通信手段として、伝書鳩が活躍してきました。



ドバトとキジバト

ドバトは、元々乾燥地帯を原産地としていますので、木々が生い茂る森林地帯や緑豊かな郊外よりも、コンクリートに覆われた都市部に行くほどよく見られ、それ以外の環境で見られることは少ないです。一方、郊外や緑の多い場所でよく見られる体色がやや茶色がかったハトはドバトではなく、キジバト *Streptopelia orientalis* と言う全く別の種類です。キジバトは留鳥（一年中同じ場所に生息する鳥のこと）として日本に生息しているハトで、体色がキジの雌にそっくりなことが和名の由来です。元々は山地や平地の木が多い場所で良く見られた種類ですが、最近では都市環境にも適応し、街路樹などに営巣するなどして、街中でもよく見られるようになってきました。



ハトの厄介な性質

ハトは雑食性で、果実や種子、昆虫などの小動物に加え、都市部では残飯などもエサにしています。繁殖力が旺盛で、年間を通して複数回産卵するだけでなく、育雛の最中にも産卵することがあります。また、都市部に住むハトには天敵が少なく、高い繁殖力も相まって、非常に数が増えています。ドバトは元々岩場に住んでいましたので、コンクリートの建造物などに営巣することが多く、巣の周りでは糞が大量に見られます。この糞は、悪臭や周囲への汚損の原因になるだけでなく、人体に対して健康被害を引き起こすことがあります。

ハトが原因となり得る病気

ヒトの住む環境に多く見られるハトですが、糞害をはじめ病原菌等により致命的な病気になる事もあるのです。実はその体内に多くの病原菌を保持しているため、注意が必要になります。ハトに対する被害の正しい知識を持ち対処しましょう。ハトから伝染する病気のうち、代表的なものを以下にご紹介します。

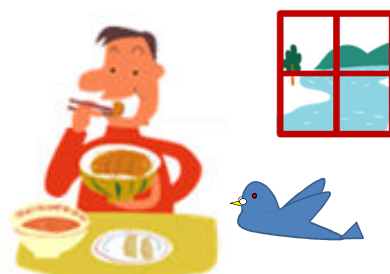
クリプトコッカス症

ハトの糞中に含まれる「*Cryptococcus neoformans*」と言う、乾燥に強いカビが引き起こす病気です。ハトの糞が乾いて舞い上がり、それが呼吸とともに、ヒトの肺の中に菌が取り込まれることで感染しますが、健康な人では症状はみられません。しかし、体力が弱ってきた老人や、体力がまだ備わっていない乳幼児、免疫力の弱った人では症状があらわれます。クリプトコッカス症では発熱、頭痛、脳炎や肺炎などの様々な症状がみられますが、肺炎から髄膜炎に移行すると**致死率が極めて高**くなります。



サルモネラ食中毒

サルモネラ菌は、病原性大腸菌、腸炎ビブリオとならび3大食中毒菌としてよく知られていて、鶏卵などの汚染が問題になっている食中毒菌です。ハトのうちの約2割が腸内にこの菌を保持していると言われていています。ハトを介してサルモネラ食中毒を起こすのは、食べ物がハトの糞に汚染された場合です。感染すると、8～48時間で腹痛、下痢、発熱が起こり、重症になると粘血便を排泄します。食中毒としての報告が主なので、**7～9月に感染が多い**といわれています。



鳥インフルエンザ

鳥に感染するインフルエンザウイルスは、通常ヒトに感染することはありません。しかし、感染した鳥またはその死骸と濃厚に接触（解体や調理等による血液、体液、排泄物等との接触）した場合にまれに感染することがあると言われていています。新型インフルエンザウイルスとは、鳥類にのみ感染していた鳥インフルエンザウイルスが、人に感染するのはまれですが、ヒトの体内で増えることができるように遺伝子が増え、さらにヒトからヒトへと効率よく感染するようになったものを指します。

簡単なハト対策について

可愛らしい外見に反して、建造物をフンで汚したり、実はかなり怖い病気を媒介したりと、色々困りもののハトですが、元々ヒトの住む環境に住みつきやすい生態を持っている種類ですし、ハトたち自身に悪意や罪があるわけではありませんので、彼らとうまく付き合っていく必要があるのではないのでしょうか？

そこで簡単にできるハトの対策についてご紹介させていただきます。

- 屋上の縁や手摺などハトが止まり易い場所に、細いワイヤーを設置面から 5cm 以上の高さに浮かすように張り、ハトの足が届かないようにする
- ハトが来たら大きな音で驚かし、その場から追い返す
- ベランダに物を置いているならなるべく整理整頓して、ハトが営巣するような小さな隙間などを作らない
- 鳥よけネットや柵を設置して、物理的にハトの侵入を防止する

基本的にはハトが止まりそうなところ、営巣できる場所を無くすことが一番の対策になります。ハトについてお困りの場合、弊社までご連絡ください。

ハト対策承ります。 まずはご連絡ください。

食中毒情報

今月もノロウイルスを原因とする食中毒が、患者数・発生件数ともにトップでした。弊社のノロウイルス検査依頼も例年より多く、飲食店・老健施設などで危機意識が高い状況が伺えます。また、実際に陽性検体も少なくないため、検査を実施して未然に食中毒を予防する必要がある状況が続いています。また、今月に入って鳥インフルエンザ（H7N9）のヒトへの感染が中国で初めて報告されました。4月12日時点で患者数が38人に達し、そのうち10人の死亡が確認されています。厚労省の分析では、まだ4年前の大流行と比べると2段階前にあるとされていますが、今後日本国内に広がる危険性も含めて注視する必要があります。

全国食中毒発生状況 (3/15~4/12 新聞発表分)

	事例	感染者数
ノロウイルス	22	733
カンピロバクター	4	33
ウェルシュ菌	2	79
腸管出血性大腸菌	2	6
不明・その他	6	124

株式会社コントロールラボ

本社 〒651-1211 神戸市北区小倉台7-1-7

阪神事業部 〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町2-4-15

福岡営業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑1-6-15-A棟3

フリーダイヤル

☎0120-540-643

URL <http://controllabo.co.jp>

TEL:078-582-3575 FAX:078-582-3576

TEL:078-858-6801 FAX:078-858-6802

TEL:092-575-0630 FAX:092-586-6321



株式会社コントロールラボ

MITEC
エムテック衛生検査所